

李鵬発言

1994年、中国の李鵬首相が、オーストラリアのジョン・ハワード首相に向かって「いまの日本の繁栄は一時的なものであだ花です。その繁栄を創ってきた世代の日本人がもうすぐこの世からいなくなりますから、20年もしたら国として存在していないのではないのでしょうか。中国か韓国、あるいは朝鮮の属国にでもなっているかもしれません」という発言をしました。

これは、まさに日本滅亡のシナリオです。隣人が、このような厳しい見方をしていることを、しっかりと認識すべきでしょう。

Wikipedia



李鵬（りほう、リー・ポン、1928年10月20日 - ）は中華人民共和国の政治家。国務院総理（首相）、全国人民代表大会常務委員会委員長（国会議長に相当）、中国共産党中央政治局常務委員などを務めた。初代国務院総理の周恩来・鄧穎超夫妻の養子となり、建国の元老である養父母を後ろ盾として国務院トップまで上り詰めた二世政治家。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%8E%E9%B5%AC>